図書室だより

来ぶらり

きてぶらり　らいぶらり

春号

今金町民センター図書室
〒049-4308
瀬棚郡今金町字今金68
TEL＆FAX 0137-82-2822

第45号　2025.3.20 発行

雪も少しずつ解け始め、やっと春めいてきましたね。新しいステージへ進む人も多いかと思います。背中を押してくれる本との出会いもあるかもしれませんよ。

今金町民センター図書室利用案内

●開室日
水～日曜日 10:00～18:00
（12:00～13:00は閉室）

●休室日
月・火・年末年始・特別整理期間

図書室HPはこちら

●貸出冊数（1人当たり）
本・雑誌　無制限
※町外は5冊まで
視聴覚資料　3本まで

閉室時の本の返却は町民センター１階事務室、もしくは総合体育館入口の返却ポストもご利用ください。

■ブックスタートボランティアを募集しています

ブックスタート、乳幼児向けおはなし会「おはなしひろば」で、乳幼児やその保護者へ読み聞かせをしてみませんか？

乳幼児期に本に触れることや、その楽しさを保護者に伝えるお手伝いをしてくれる方を募集しています。

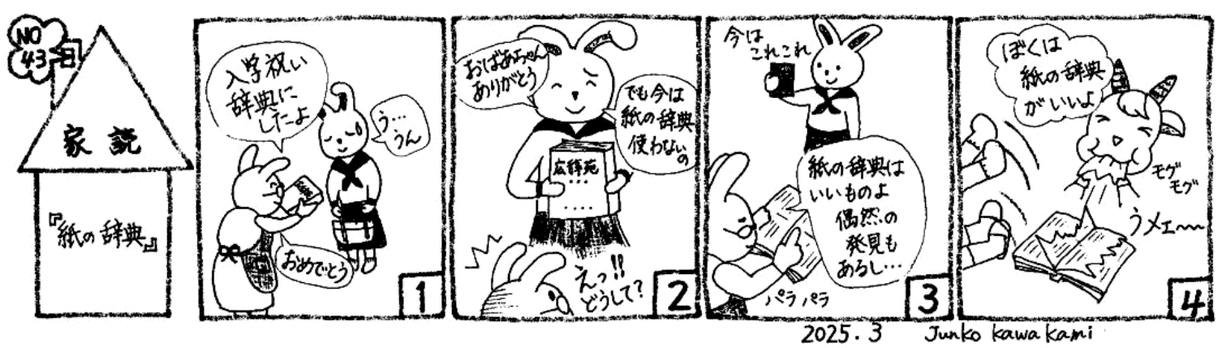
活動に興味がある方は、図書室もしくは社会福祉協議会へ、お気軽にお問い合わせください。

■おはなしひろば　～乳幼児向け～

町民センター図書室　11:00～

４月23日・５月14日・６月11日

家読（うちどく）４コマまんが　※家読とは…家族で読書習慣を共有し絆を深める活動



今金町生涯学習情報誌 いまナビ

～学びの“今”をナビゲートする～ 第36号

令和七年 三月二十日

発行日：令和7年3月20日
発　行：今金町教育委員会
編　集：社会教育グループ
〒049-4393
瀬棚郡今金町字今金48番地の1
TEL　0137-82-3488
FAX　0137-82-3445

「今金町生涯学習情報誌いまナビ」は毎月の広報紙「広報いまかね」では掲載しきれない教育関係の記事をはじめ、所属団体の活動情報、教育関係委員のコラムを掲載し、町民の皆様に教育関係事業の情報をお知らせするものです。年4回、町内全世帯向けに発行しています。どうぞご覧ください。ご感想もお待ちしています。

■ 今金町女性団体連絡協議会創立70周年記念事業「2024今金コレクションファッションショー」

３月２日、今金町民センターにて今金町女性団体連絡協議会創立70周年記念事業・北翔大学連携事業・今金町世代間交流事業「2024今金コレクションファッションショー」が行われました。この事業は、令和６年度にて今金町女性団体連絡協議会（小池令子会長）の活動が終了するのに伴い、これまで北翔大学連携事業として行われた「ミセスウェディングドレスプロジェクト2015今金コレクション」・「レディースKIMONOプロジェクト2017今金コレクション」・「ファミリープロジェクト2019今金コレクション」の集大成として開催されたものです。

前日から学生21名と教員７名が来町し、ステージ設営や今金町の出演者９名との衣装合わせなどを行い、夜には交流会を通し親睦を深めました。食事は女連協をはじめ、商工会女性部、農協女性部の皆さんにお手伝いをいただき、今金男しゃくのポテトサラダや、今金の豆腐を使ったハンバーグ、今金いっぱい汁などが振舞われ、学生たちは舌鼓を打っていました。

当日は210名近くの来場者の中、出演者は温かい拍手や声援に包まれ、ランウェイを華やかな衣装で堂々と歩きました。時には声援に応える出演者もおり、アットホームなファッションショーとなりました。ショーの最後には小池会長からこれまでの感謝の挨拶が述べられ、70年にわたる女連協の活動に幕を下ろしました。

今金町女性団体連絡協議会　小池令子会長の挨拶

北翔大学と最初にこのプロジェクトを立ち上げたのが10年前、その後レディースKIMONOプロジェクト、ファミリープロジェクトと３回開催し、集大成が開催できたことは誠に感慨深いものがあります。参加者がなかなか集まらなかったウエディングドレスプロジェクト。KIMONOプロジェクトでは町民の皆様から帯や着物が100点以上集まったこと。ファミリープロジェクトは総合体育館落成記念として行われたことなど、このプロジェクトの残してきた足跡は、かけがえのないものになったのではないでしょうか。

今回は創立70周年記念事業として企画したものですが、時代の流れ、会員の減少や高齢化により、本事業をもって今金町女性団体連絡協議会は活動を終わります。しかし、地域単位での女性活動は今後も継続させていきたいと思いますので、今後ともご指導ご鞭撻をお願いいたします。

■ 地域の皆さんで様々な体験活動をしてみませんか？

教育委員会では自治会・町内会単位や老人クラブ、小グループでの活動など、地域活動のサポートをしています。「ちょっとした体験講座を企画したい」、「運動不足を解消する簡単な体操をしたい」、「地域の歴史について学びたい」など、活動や講師・指導者の派遣などの相談を受け付けています。教育委員会（電話82-3488）までお気軽にお問い合わせ下さい。

これまでの事業

◆災害対策講座　◆睡眠講座　◆健康体操教室（シナプソロジー・笑いヨガ）　◆フロアーカーリング教室
◆モルック教室　◆高齢者IT教室　◆各地区歴史講座　◆ハーバリウム教室　◆ジェルキャンドル講座
◆本の出張貸し出し　◆読み聞かせ講座　◆回顧録を読む　◆昔の映像鑑賞会　◆映画鑑賞会　など

■赤十字社より「災害用天幕」が寄贈されました

このたび日本赤十字社北海道支部より、日本赤十字社今金区分に対し「災害用天幕」１張が今金町教育委員会へ寄贈されました。

この天幕は町民のみなさまからいただいた社資を財源として配置されたもので、地域における災害、事故等の救援活動のほか、赤十字事業や今金町で行われる各種事業において、幅広く活用されます。

今後もみなさまのご協力をよろしくお願いします。

コラム　今をみつめて

教育委員会　永井（ながい）　章（あきら）　委員

以前とある研修会にて「何かを始めるのはいつが一番いい時期でしょうか？」という問いがありました。

早ければ早い方がいいよな～？　小学生？　それとも…こども園の時？　などといろいろ考えていました。すると、講師の先生はこう言いました。「あなたがそう思った今ですよ。」と、なるほど！　何かを始めるのに年齢、時期は人それぞれ違っていて当たり前。その人がやってみたい、始めたいと思った時が最適なんですね。そして、そう思って始められるか始められないか、そこがその人の分岐点になるのでしょうか？

やはり一歩ふみ出して始めてみることが大事で、そしてそこに何か楽しみがきっとあるに違いないと思います。もしそれが失敗に終わったとしても、（なんとかなるさ～、と思いつつ）また次に向けて進んで行ける強い意志を持ち続けてほしいと思います。

過去から今、そして未来へ…「今」みなさんは何をしていますか？何を考えていますか？この3月から4月はわたしたちの生活環境が変わる季節です。さあ～、今をみつめて、明るい未来へと一歩ふみ出して行きましょう！

社教三委員会委員のコラム
委員のよこがお

今金町社会教育委員会（８名）・今金町スポーツ推進委員会（８名）・今金町文化財保護委員会（６名）の各委員によるコラムを掲載します。それぞれの視点からのコラムをお楽しみに！

冬のお祭り

社会教育委員会委員　秋山（あきやま）　ゆりか（主婦）

２月11日の建国記念日に、ピリカウィンターフェスティバルがピリカスキー場にて開催されました。アルペンGS大会をはじめ、会場では子ども達が遊べるコーナーやたくさんのキッチンカーで来場者を楽しませていました。

以前スキー場運営の危機やコロナ禍などがありましたが、今では様々な企業や団体の協力のもと、内容盛りだくさんのイベントへと発展してきたようです。

近隣のスキー場では利用料が高騰する中、ピリカスキー場は比較的リーズナブルだと、他町からのお客様にも密かに人気があるとのことです。レンタルスキーやスノーボードで休日を楽しむのもいいですよ。

ピリカスキー場あってこそのイベント、これからも続けてほしいと願います。

何事にもチャレンジ

スポーツ推進委員会委員　水本（みずもと）　和芳（かずよし）（団体職員）

日ごとに春めいてきましたね。皆様、いかがお過ごしでしょうか？

現在、私の息子はこども園の年長組に在籍しており、柔道と野球の少年団に加入しています。初めて１年ほどしか経過していませんが、今回、幼児も参加可能な柔道大会が開催されると聞き、折角なので出場させてみました。「まだ試合で勝つのは難しいかな？怪我をしないかな？」と不安を抱えての参加でしたが、蓋を開けると２勝することができ、親もびっくりの結果を残してくれました。我が家では、小さい頃から色々と経験させた方が見聞も広まるだろうと、行事やイベント等に積極的に参加しています。その経験が初めての大会でも物怖じせずに、良い結果につながったと感じました。何事にもチャレンジしないと、成長や可能性の広がりにならないと改めて実感させられた出来事でした。

文化財保護委員として

文化財保護委員会委員　宮本（みやもと）　彰（あきら）（元町職員）

学生時代に学芸員の勉強を少ししていた縁で、今年度から文化財保護委員を務めています。委員となり、当町が令和４年度に策定した「文化財保存活用地域計画」を改めて読みました。これによると町内には数多くの貴重な文化財があることを再認識し、その保存と活用が重要と思うところです。

私自身、昨春の砂金採掘跡の調査や金山遺跡の講演会、夏のピリカ遺跡まつり、冬の歴史的建造物の講演会などに参加し、現場での調査法や専門家の講話に触れたことで、地元の文化財についてとても興味が湧き、広く見識を深めました。

町教委は年間を通じてさまざまな学ぶ機会を提供しています。町民の皆様には回覧の参加案内をよくご覧になり、積極的に参加していただきたいですね。